

具体の施策例(案)

3.1 河川機能面から見た方向性	
3.1.1 洪水に対する安全性について	堤防整備や内水排水ポンプ等の施設整備 ハザードマップの整備などの居住地域や住民自らが対応する避難対策 早明浦ダム等の既存施設の有効活用 新規ダムの建設
3.1.2 水利用の安定性について	吉野川総合開発以前の分水や最近の吉野川の水利用等の状況把握 自己水源の状況を常時把握 水源のネットワーク化 水管理の高度化 渇水時における吉野川の効率的な水利用 発電専用容量から上水への活用措置に対するの対価 利水調整者の権限強化 既得用水の減量分と新規開発用水の未利用分の有効利用 早明浦ダム等の既存施設の有効活用 水の再配分 早明浦ダム等の既存施設の有効活用 新規ダムの建設
3.1.3 環境について	早明浦ダムの選択取水設備の運用改善 環境用水の放流パターンの試行改善やダムの弾力的な運用 水量の確保、水質の確保 水力発電の地球環境面からの評価
3.2 地域社会面から見た方向性	
3.2.1 水源地域について	水源地域と受益地域の交流連携 森林整備に対する関係機関の持続的支援
3.2.2 受益地域について	水利用の高度化 市民への節水意識の啓発 緊急時の用水の確保
3.3 水事情の相互関係から見た方向性	
水の再配分【再掲】 早明浦ダム等の既存施設の有効利用【再掲】 新規ダムの建設【再掲】 早明浦ダムの放流設備改築 早明浦ダムの選択取水設備の運用改善【再掲】 環境用水の放流パターンの試行改善やダムの弾力的な運用【再掲】 現在の制度にない県境を越える負担の再配分のメカニズム 広域的な水利用調整組織の検討	
3.4 四国人の相互理解の向上のための留意事項	
水問題に関するポータルサイトの開設 住民にわかりやすい情報提供方法の工夫 受益と負担の関係を評価できるシステム構築について検討 水源地域と受益地域の交流連携【再掲】 水源地域と受益地域が相互に理解を深めるための交流の場の拡大	